

# JGA

Japan Generic  
Medicines Association

# NEWS

2022年 令和4年

11月 | 175号

## C O N T E N T S

### TOPICS

### トピックス

- 01 物価高・エネルギー価格高騰がもたらす  
安定供給への懸念  
株式会社ミクス ミクス編集部 デスク 望月 英梨 氏



### 会員会社だより

- 03 光製薬株式会社



### 委員会活動報告

- 05 第55回日本薬剤師会学術大会について  
広報委員会
- 06 経営層向けコンプライアンス研修会について  
信頼性向上プロジェクト



### 賛助会員から

- 07 澁谷工業株式会社

### information

### お知らせ

- 09 小学生向けコンテンツ『おくすり大百科 目指せ！  
おくすり博士』（動画&スライド）公開  
～監修：大阪大谷大学 薬学部 医薬品開発学講座 教授/前学  
部長 薬学博士 中田 雄一郎先生～

- 10 JGApedia GE薬協コラム 第14弾  
【Factに迫る！】『価値創造経営』について
- 11 スcoop! 鷹の爪『第三話日本がもし1000人の村  
だったら』公開  
～ジェネリック医薬品業界で一体何が起きたのか!?  
そして未来に何が起こるのか?  
鷹の爪が導き出す真実とは?!目指せ大Scoop!～
- 12 記者説明会の開催について  
「ジェネリック医薬品の信頼回復に向けた取組み～令和  
4年度中間報告と今後の取組みについて～」

### 知っ得!豆知識



- 13 国の「人材育成」に向けた  
基本的な考え方について  
～「骨太の方針2022」の新しい資  
本主義に向けた改革「多様な働き  
方」と「質の高い教育」の後押しに  
よる“総合知”の創出・活用へ～



### COP 便り

- 16 患者友の会への寄附について

- 17 活動案内

- 18 編集後記  
温故知新

## 物価高・エネルギー価格高騰がもたらす 安定供給への懸念

株式会社ミクス

ミクス編集部 デスク 望月 英梨 氏

2023年度改定をめぐる議論が年末の予算編成に向けて本格化する。物価高やエネルギー価格の高騰、為替変動の影響が強まるなかで、低薬価品をはじめとした医薬品の安定供給も懸念されている。一方で、少子高齢化が進むなかで、構造的課題への対応は待たない。膨らみ続ける薬剤費は、国民負担に直結する。物価が高騰し、国民負担の重要性が高まるなかで、医療上必要性の高い医薬品をいかに安定供給するか。2023年度改定は、国民負担の軽減と医薬品の安定供給のバランスをいかに取るかが焦点となりそうだ。

「物価高における国民の負担軽減の観点から、完全実施を実現すべき」。財務省主計局は11月7日の財政制度等審議会財政制度分科会で、こう主張した。少子高齢化の波が襲うなかで、社会保障における構造的課題の重みは増している。薬剤費そのものは、2016年のC型肝炎治療薬の薬価改定を除き、一貫して伸び続けている。財務省主計局は、「既存薬価の改定率は例年マイナスとなっているが、薬剤使用量の増加や新規医薬品の保険収載により、薬剤費総額は、経済成長を上回って推移している」と指摘した。

毎年薬価改定の初回となった2021年度改定は、乖離率5%超（平均乖離率8%の0.625倍）、約7割の品目が改定の対象となった。財務省は、「価格乖離の大きな品目に限定」して実施した。「21年度においても医薬品市場は拡大しているとの指摘もある」と強調した。

こうしたなかで、物価やエネルギー価格の高騰が国民生活を直撃している。製薬業界からは物価高騰を踏まえた薬価上の下支えを求める声も上がっているが、財務省主計局は、米国では物価上昇のなかで国民負担を軽減するため、特例的に医療保険（メディケア）の薬価を引き下げる法案を成立させたことを紹介し、日本も例外でないとの認識を滲ませた。

出席委員からは、「日本の医薬品メーカーの国際的プレゼンスが低いことが問題だ。薬価に守られて、イノベーションが生まれづらくなっているのではないか。その観点からも薬価を下げた方がいい。また、最近の物価高の中で国民負担を軽減していくということも重要だ。薬価の引き下げはアメリカもやっているし特に異論はないのではないか。今回の薬価改定において対象品目を限定しないで幅広くルールを適用していくことに賛同する」との意見があがったという。

翌9日に開かれた中医協薬価専門部会でも、医薬品の安定供給に議論の焦点が当たった。

医薬品の安定供給をめぐり、短期的な財政措置を検討する必要性を指摘。23年度改定の論点に盛り込むよう求める声があがった。ただ、支払側の松本委員は、「短期的な対応」には、「薬価のみならず、税制や補助金等もある」と指摘。さらに、4大臣合意を引き合いに、「診療報酬改定のない年の薬価改定は、市場実勢価格を適時に薬価に反映して、国民負担を抑制するためにするということをしつかり押さえていく必要がある」としたうえで、「物価高は生活の様々なところで全ての国民に影響がある。安定供給に支障をきたして必要な医療が受けられないことは避けなければなりません。薬価において物価高に配慮する

ことになれば、ただでさえ病気になって出費がかさむ患者が負担軽減の恩恵を受けにくくなるということとは指摘させていただく」と述べた。

これまでも薬価・診療報酬改定を決めるメルクマールに「物価・賃金」の指標が用いられてきた。ただ、この10数年間はデフレが続き、名目GDPもマイナス成長の深みにはまっている。その点で診療報酬改定論議における経済指標のウエイトはいつしか主役から脇役へと追いやられていた感もある。しかし、今回の世界的経済情勢の急激な変化は、諸外国をはじめ薬価や社会保障のあり方に一石を投じていることは間違いない。製薬産業も薬価中間年改定をめぐる政府判断にやきもきする日々を送っているが、今回の経済情勢はコロナ禍と同様に、そう簡単に終息しそうもない気配すら漂っている。ここは冷静になって世界経済や国際動向を踏まえた中期的戦略を練り直した方がよろしいのではないだろうか。いつまでも「日本の市場は魅力がない」とばかり主張していると、産業としての国際的な孤立を招くことにもならないだろうか。

最近、ふと思うことがある。

私の自宅は都内屈指の観光地である浅草から少し離れた、閑静というよりも寂れたという表現が正しい住宅街の中にある。

なんでも昨今はその辺りも奥浅草などと洒落の聞いた名称で呼ばれているようであるが、浅草寺よりも吉原山谷の方が近い地域に何をか況や。

そんないわくつきの場所に建設ラッシュ、バブルとでも言うべき波が来て久しい。  
どのような波かと言えば、マンション建築の波である。

コロナ過が日本を襲った19年末を皮切りに、自宅の周囲に建てられたマンションの棟数、実に65棟。自宅周辺を散策していて何気なく気が付いたものを数えた数であって、その実数はさらに多いのは間違いないと思う。

徒歩20分弱を要するとはいえ、最寄り駅は銀座線の始発駅である浅草駅。  
日本橋や銀座、新橋、虎ノ門と、都内中心部に勤務地のある方々からすれば利便性は極めて良好。

もはや在宅勤務が当たり前になったこのご時世ではあるが、全く通勤する必要がなくなったかと言えばそんなはずもなく。のんびりと座って通勤できる快適さは、一度経験してしまえば手放すのも難しだろう。

問題があるとすれば、浅草という土地が目黒や碑文谷、三軒茶屋といった23区南西部の有名どころに匹敵するほど地価が高いということ。

そして新たにマンション建設がなされた土地の多くが、消費低迷によって廃業した製靴業の会社跡地に建てられたものであるということか。

浅草北部、江戸歌舞伎発祥の地などと呼ばれている辺りは、実は江戸末期から昭和中期にかけて紳士用洋靴の一大生産地となった場所で、最盛期には国内市場の過半を供給していたというが、残念ながら令和に入ってより急速に数を減らしつつある。

弊社の本社ビルの前にも国内最大手の一角を占めていた靴の商社の本社があったのだが、その場所も今ではマンションの建設予定地になっている。

とかく、ある程度の土地が開けば雨後の筍よろしくマンションが生えてくる。

それも地盤の問題だか建築基準法上での境界なのか、あるいは建設コスト上の制約なのか、揃いもそろって10階から11階建て。

更にコストの関係なのか流行りなのか、見た目まで双子か何かのように似通っている。

ほんの数年前まで、自宅の屋根上からは隅田川の花火大会を観ることができた。

しかしコロナ過で大会の開催が延期されている間に押上のスカイツリーも花火大会の打ち上げ地も、新たに建てられたマンションの影となり見ることがかなわなくなった。

自宅のベランダから花火大会が見れますとの謳い文句とイメージイラストで新規居住者を求めているマンションの正面に、新たなマンションの建築計画が持ち上がり同じ歌い文句、同じイメージイラストで居住者を求める滑稽さ。

そしてそのマンションが完成するころには、またその正面に新たな建設計画が持ち上がっている。

賽の河原の小石積みを、あたかも現世の箱物で再現しているかのように思えて全く気が滅入る。

諸氏はご存じのことと思うが、つい最近まで住宅ローンを組むと国から補助を受けることが出来ていた。数十年にわたって長引く歴史的に低金利の時代、うまくローンを組むだけの信用を金融機関から得ている方であれば、所謂逆ザヤで住宅が手に入るという妙な期間が生じていた。

本来ならばローンを組むのが難しい一般家庭向けの制度であったものを、うまく利用して資産運用に利用する方々がいたというわけだ。

結果、都内の不動産価格はバブル期よろしく高騰を続け、日本国民の平均年収では一生かかっても購入できないほどまで膨れ上がってしまったのはご存じの通り。

まあ、これは日本に限らず世界中の首都で発生している問題ではあるのだが、諸外国のように高いインフレ率の中での住宅価格の上昇と、日本のように極低インフレ率の中での住宅価格の高騰とでは感覚的なインパクトに大きな隔たりが出来てしまうのは郁子なるかな。

散歩がてら、工事現場に張られた分譲価格に目を走らせて、こんな僻地にこのような価格で誰が買うのやらと眉に唾して見ていたものだ。

考えてみればコロナ過の前、オリンピック景気に沸いていたころは、浅草周辺はホテルの建設ラッシュであった。

コロナパンデミックの襲来と延期の上に無観客となった東京オリンピックのお陰で、観光を当て込んだ諸々の投資は『とらぬ狸の皮算用』に終わってしまったものだが、このマンションバブルの顛末はのちの代でどのように語られるものになっているのだろうか。

とうに分譲・賃貸が始まっていながら、夜半にも一向に灯火の灯る様子のない、暗い大きな長方形の箱物を見て思う。

さて、この国はどこに向かっているのだろうか、と。



## 第55回 日本薬剤師会学術大会について

開催日時：2022年10月9日（土）～10日（日）  
場所：仙台国際センター  
概要：日本ジェネリック製薬協会（以下、GE薬協）では、本学術大会に企業展示に共催し、「製品の供給状況について」ページおよびジェネリック医薬品の信頼回復へ向けての取組みについて説明を行いました。また、9日に開催された分科会にはGE薬協から川俣副会長がシンポジストとして参加しました。

### 【分科会概要】

分科会6 テーマ：後発医薬品の供給問題と安定供給に向けた対策

日時：2022年10月9日（日）14:00～16:00  
場所：仙台国際センター 第11会場

座長：森 昌平 氏（公益社団法人 日本薬剤師会 副会長）  
高橋 均 氏（一般社団法人 宮城県薬剤師会 理事）

シンポジスト：①山本 剛 氏（厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課ベンチャー等支援戦略室 室長）  
「医薬品の安定供給に向けた行政の取組みについて」  
②川俣 知己 氏（日新製薬株式会社 代表取締役社長／日本ジェネリック製薬協会 副会長）  
「後発医薬品の安定供給の原状と将来展望－製造の立場から－」  
③山口 聡一 氏（株式会社バイタルネット 取締役／執行薬品物流本部長／薬事管理担当／  
医薬情報企画担当／物流開発担当／川口センター長）  
「後発医薬品の出荷調整に対する医薬品卸の対応」  
④小田 真稔 氏（公益社団法人 福岡県薬剤師会 専務理事）  
「医薬品提供体制の現状と薬局・薬剤師の役割」



写真：企業展示の様様

## 経営層向けコンプライアンス研修会

開催日時：2022年10月24日（月）13:00～14:30

開催場所：WEB会議

参加者：36社（140名）

開会挨拶：日本ジェネリック製薬協会 副会長 澤井 光郎 氏

演 題：独禁法の観点から見たコンプライアンス

講 師：酒匂 景範 氏

（大江橋法律事務所 パートナー弁護士・ニューヨーク州弁護士）

閉会挨拶：日本ジェネリック製薬協会 会長 高田 浩樹 氏

### 概要：

GE薬協では、ジェネリック医薬品に対する信頼回復に向けて、品質確保・安定確保への取組みとともに、会員各社のコンプライアンス・ガバナンス体制の強化に継続して取り組んでおります。今回その一環として特に経営層をターゲットとしたコンプライアンス研修会を実施いたしました。研修会では、会員会社36社より代表者、経営幹部、コンプライアンス担当役員を含む140名の皆様にご参加いただきました。

冒頭、澤井副会長からは、業界としては一層倫理観を持って事業を行っていく必要がある中、信頼を根幹から揺るがす不祥事が多数起きていることから、経営層がコンプライアンス経営を念頭に置いてこれを徹底することを強調される発言がありました。

開会挨拶に続き、大江橋法律事務所の酒匂景範先生に「独禁法の観点から見たコンプライアンス」と題してご講演をいただきました。

講演では、独占禁止法違反に係る医薬品業界の最近の事例紹介に始まり独占禁止法の概略についてわかりやすく解説いただきました。引き続き、コンプライアンス強化の進め方としてリスクベースでの評価を基に進めることを紹介いただき、コンプライアンス強化の具体的な取り組みについてもよくある課題など事例を引用しつつ丁寧に解説いただきました。その後、質疑応答が行われました。

最後に、高田会長からは法令遵守体制の強化に経営トップ自らが先頭に立って推進いただくようお願いがあり、研修会は終了いたしました。

今回の研修会では、業界において独占禁止法に関連して遵守し押さえるべき点を含めコンプライアンス全般にわたり幅広く改めて再確認することができました。

協会としましてはコンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントに関わる取り組みを今後も一層充実させ継続的に実施し、会員各社での運用の徹底を行ってまいります。



GE薬協会員の皆様、賛助会員の澁谷工業株式会社です。

当社はプレフィルドシリンジやバイアル・アンプルの注射剤、点眼剤や輸液バッグ剤などの液剤や無菌粉末における調製から充填包装の自動製造システムをはじめ、無菌操作空間を維持するアイソレータ、過酸化水素や電子線（EB）による除染システムなど、最先端の製薬設備システムを設計・製造し、国内外の製薬会社や再生医療研究施設へ納入させて頂いている設備メーカーです。

新型コロナウイルスとの戦いが続く中、製薬業界では外勤、外出ができなくなり、テレワークなど働き方の変化を余儀なくされた方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。一方で、出勤せねば”ものづくり”が成り立たない生産工場においてはデジタル化が一気に進み「スマートファクトリー」ニーズの高まりとともにDX化の検討はより身近なものとなってきています。

本稿においては、当社が提案します「Shibuya “One-stop” DX Service for Pharma」を紹介します。

当社は無菌注射剤の分野において世界で唯一、充填ライン、アイソレータ、除染システム、調製設備を1社で提供できる”One-Stop”メーカーです。さらには得意とする装置とITシステムを融合させたシステム展開を提案しています。機械装置のみならず、スマートファクトリー／DX化が進んだ現在において必要と考えられるITシステムも”One-Stop”で提供します。

- ・ SCADA 「PMS (Production Management Systems) for Pharma」
- ・ シリアルライゼーション 「Track&Trace」
- ・ SOP電子化システム 「fun-SOP®」
- ・ AIを使った予兆診断 「SPRM(Shibuya Platform Remote Monitoring)Systems」
- ・ リモートメンテナンス 「Remote Maintenance System」

当社は、創立以来「喜んで働く」ことを経営理念として、「カスタマー・ファースト」を貫き、お客様のニーズに合わせてパッケージングプラントをターンキーで提供するビジネスを主体とし、そこで培われた技術の応用展開によってニュービジネスにチャレンジし、会社の発展とともに社会に貢献することを目指しております。

業界ニーズにのっとりPart11対応、CSV対応、DI対応などはもちろん、一貫した思想で”One-Stop”のシステムを提供します。

「生産設備のシステムの在り方」を検討される際のご参考となり、業界の皆様のお役に立てることに繋がりましたら幸いです。





Shibuya“One-Stop” DX Service for Pharma

## 無菌注射剤スマートファクトリー

### 設備とDXを統合した製造ラインを構築

Part11対応 CSV対応 DI対応

充填ラインにつながる全てのITシステムを  
“One-Stop”で提案・構築が可能

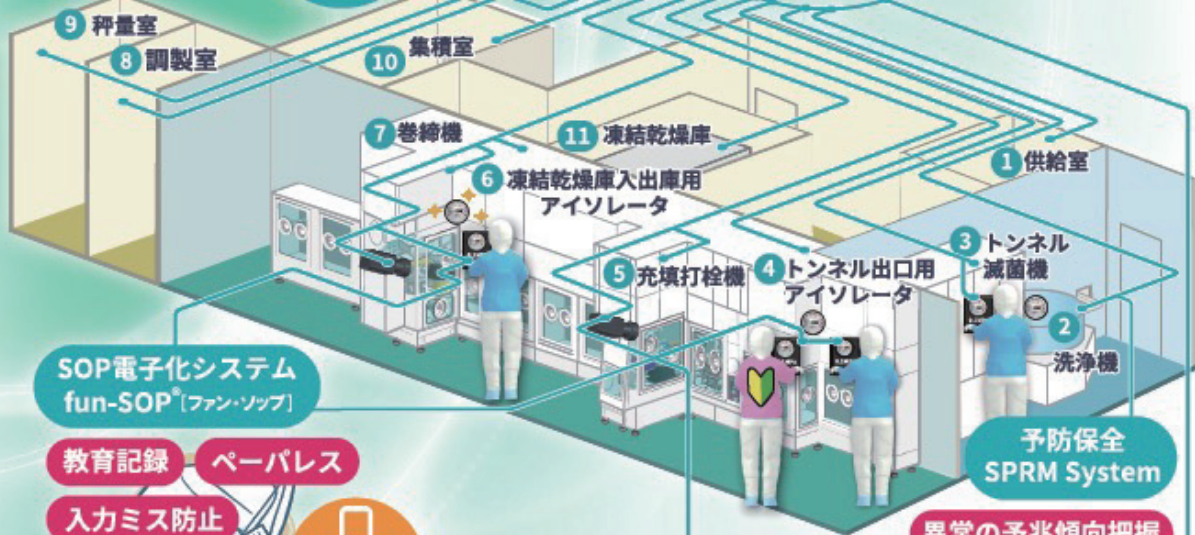
SCADAシステム  
PMS for Pharma

MES接続

- 生産性向上
- 品質向上
- リスク管理
- コスト削減
- 作業効率化
- セキュリティ強化
- データ品質向上

モデルライン  
バルコニー式  
バイアル充填ライン

最新型  
無菌高活性  
充填設備



SOP電子化システム  
fun-SOP<sup>®</sup> [ファン・ソップ]

- 教育記録
- ペーパーレス
- 入力ミス防止

楽ラク!  
SOP記録システム

作業記録  
入力

コード照合

写真記録  
DI対応

予防保全  
SPRM System

異常の予兆傾向把握

包装/出荷  
Track and Trace System

データ品質向上

リモートメンテナンス

セキュリティ対策

お問合せ先： 澁谷工業株式会社 本社営業部 北野修司 s-kitano@shibuya.co.jp

## 小学生向けコンテンツ 『おくすり大百科 目指せ！おくすり博士』 (動画&スライド)公開 ～監修：大阪大谷大学 薬学部 医薬品開発学講座 教授/ 前学部長 薬学博士 中田 雄一郎先生～

2022年10月19日(水)から、小学生向けコンテンツ『おくすり大百科～目指せ！おくすり博士～(動画&スライド)』を公開しました。

本コンテンツは、当協会が協賛する全国新聞社事業協議会が主催の「全国選抜小学生プログラミング大会」におけるGE薬協の独自展開企画として作成したものです。

小学生の皆様およびそのご家族の皆様など、医薬品の歴史から現在、そして、ジェネリック医薬品について、幅広い内容をわかり易くまとめた内容となっていますので、ぜひ、楽しみながら、学んでいただければ幸いです。

<『おくすり大百科 目指せ！おくすり博士』はこちらから！>

日本ジェネリック製薬協会公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCNxJndfNnD1nr2McTTdXWmg/videos>





## JGApedia GE薬協コラム 第14弾 【Factに迫る！】『価値創造経営』について

9月22日、米国のニューヨーク証券取引所（NYSE）での岸田首相の講演、「新しい資本主義」の中で5つの優先課題の第1として「人への投資」を掲げたように、さらに人的資本への取組が注目されています。

投資家が「人への投資」を含めた企業の将来価値を知るためには、決算短信や有価証券報告書に載っている財務情報だけでは不十分です。「人への投資」の取組といった非財務情報を含めて紹介するのが統合報告書です。

今回、統合報告書のIIRC（国際統合報告評議会）のフレームワーク『価値創造プロセス』とそれに関連して『Babyの未来の価値創造』について紹介いたします。

<GE薬協コラムはこちらから！>

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia.html>



## スクープ！鷹の爪

### 『第三話日本がもし1000人の村だったら』公開

～ジェネリック医薬品業界で一体何が起きたのか？  
そして未来に何が起こるのか？鷹の爪団が導き出す真実とは？！  
目指せ大スクープ！～

2022年11月2日（水）から、「スクープ！鷹の爪『第三話日本がもし1000人の村だったら』」を公開しました。

鷹の爪の取材を通じて、ジェネリック医薬品業界に生じている問題について分かりやすく紐解くと共に、過去の不祥事と真摯に向き合い、業界全体で信頼回復のために取組むジェネリック医薬品業界の実情やその行く末について、鋭く迫る内容を展開いたします。少しでも多くの皆様にご覧いただき理解と安心につながりましたら幸いです。

<『スクープ！鷹の爪』はこちらから！（特設サイト）>

[https://www.jga.gr.jp/jga\\_scoop\\_takanotsume.html](https://www.jga.gr.jp/jga_scoop_takanotsume.html)



## 記者説明会の開催について

### 「ジェネリック医薬品の信頼回復に向けた取組み ～令和4年度中間報告と今後の取組みについて～」

日時：2022年11月9日（水）15:00～16:30

会場：CIVI研修センター日本橋 N5ホールおよびWEB開催

※対面とWEB形式での開催

概要：日本ジェネリック製薬協会（以下、GE薬協）では、ジェネリック医薬品の信頼回復に関しまして、これまで様々な取組みを行ってまいりました。

今般、GE薬協が行ってまいりました取組みの中間報告および今後の取組みにつきまして、関係の皆様へ説明させていただきたく、報道関係者向けの説明会を開催いたしました。

説明会で使用しました資料並びに説明会の動画を公開しておりますのでご確認ください。また信頼回復に関連した特設サイトや関連動画をご紹介します。

#### 【説明資料】

<https://www.jga.gr.jp/assets/pdf/archives/76d6ea522ce70395808837ae85d80d6485a95481.pdf>

#### 【説明会YouTube動画URL】

<https://www.youtube.com/watch?v=JokexT6QiT4>

#### <関連ページ>

「ジェネリック医薬品に対する信頼の回復に向けた当協会の取組みについて」特設サイト

<https://www.jga.gr.jp/effort.html>

#### <関連動画>

「ジェネリック医薬品の信頼回復に向けた取組みに関する特設サイト」説明動画

<https://www.youtube.com/watch?v=J29LpjVem0w&t=0s>

「スクープ！鷹の爪」

[https://www.jga.gr.jp/jga\\_scoop\\_takanotsume.html](https://www.jga.gr.jp/jga_scoop_takanotsume.html)



写真：前列左から

倫理委員会委員長 神内 孝二郎 氏

GE薬協 会長 高田 浩樹 氏

GE薬協 副会長 川俣 知己 氏

流通適正化委員会副委員長 海宝 徹 氏

後列左から

総務委員会副委員長 國廣 吉臣 氏

広報委員会委員長 田中 俊幸 氏





## 国の「人材育成」に向けた基本的な考え方について ～「骨太の方針2022」の新しい資本主義に向けた改革 「多様な働き方」と「質の高い教育」の後押しによる “総合知”の創出・活用へ～

今年6月7日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022<sup>1)</sup>」の第2章「新しい資本主義に向けた改革」の1丁目1番地は「人への投資」です。

デジタル化や脱炭素化という大きな変革の中、人口減少に伴う労働力不足にも直面する我が国において、創造性を発揮して“付加価値を生み出していく原動力は「人」である”と明確に記載されました。

「人材投資」という言葉は「経済財政運営と改革の基本方針2017」から掲載されてきましたが、今回、載視された「人への投資」は新しい資本主義に向けて計画的な重点投資行う科学技術・イノベーション、スタートアップ、GX、DXに共通する基盤への中核的な投資と位置付けられています。

### “人への投資”と分配

こうした考えの下、政府は、働く人への分配を強化する賃上げを推進するとともに、職業訓練、生涯教育等への投資により人的資本の蓄積を加速させます。あわせて、“多様な人材の一人一人が持つ潜在力を十分に発揮”できるよう、年齢や性別、正規雇用・非正規雇用といった雇用形態にかかわらず、能力開発やセーフティネットを利用でき、自分の意思で仕事を選択可能で、個々の希望に応じて多様な働き方を選択できる環境整備を進めます。

具体的には、成長分野における重点投資等を通じた質の高い雇用の拡大を図りつつ、「人への投資」を抜本的に強化するため、2024年度までの3年間に、一般の方から募集したアイデアを踏まえた、4,000億円規模の予算を投入する施策パッケージを講じ、働く人が自らの意思でスキルアップし、デジタルなど成長分野へ移動できるよう強力的に支援することが示されています。

### “企業統治改革”と“学び直し”の後押し

また、企業統治改革を進め、“人的投資が企業の持続的な価値創造の基盤”である点について株主との共通の理解を作り、今年中に非財務情報の開示ルールを策定するとともに、四半期開示の見直しを行います。男女の賃金格差の是正に向けて企業の開示ルールの見直しにも取り組みます。さらに、政府からの特に大規模な支援を受ける際には、人的資本投資などを通じ、中長期的な価値創造にコミットすることを企業に求めます。



あわせて、社会全体で学び直し（リカレント教育）を促進するための環境を整備します。学び直しによる成果の可視化と適切な評価、学び直し成果を活用したキャリアアップや兼業・副業の促進、学ぶ意欲がある人への支援の充実や環境整備、成長分野のニーズに応じたプログラムの開発支援や学び直しの産学官の対話、企業におけるリカレント教育による人材育成の強化等の取組を進めます。

## “質の高い教育”の実現

特に「質の高い教育の実現」に取り組む姿勢が明示されており、本文のP6には、官民共同修学支援プログラムの創設、地方自治体や企業による奨学金返還支援の促進等、若者を始め誰もが、家庭の経済事情にかかわらず学ぶことができる環境の整備を進めるとあります。また、未来を支える人材を育てる大学等の機能強化を図るべく、デジタル・グリーンなど成長分野への大学等の再編促進と産学官連携強化等に向け、複数年度にわたり予見可能性をもって再編に取り組める支援の検討や、私学助成のメリハリ付けの活用を始め、必要な仕組みの構築等を進めていくことが謳われています。

その際、現在35%にとどまっている自然科学（理系）分野の学問を専攻する学生の割合についてOECD諸国でもっとも高い水準である5割程度を目指すなど具体的な目標を設定し、今後5～10年程度の期間に集中的に意欲ある大学の主体性をいかした取組を推進することを示しました。若手研究者と企業との共同研究を通じた人材育成等により大学院教育を強化することも明示されています。

現在は下記のような分布となっています<sup>2)</sup>

	理学・工学・農学分野	医学等	その他
中国	39.9%	9.8%	50.3%
ドイツ	39.4%	6.9%	53.7%
韓国	36.0%	9.7%	54.3%
英国	32.7%	14.1%	53.2%
日本	<b>20.4%</b>	<b>12.7%</b>	<b>66.9%</b>

国は、“あらゆる分野の知見を総合的に活用”し、社会課題への的確な対応を図る「総合知」の創出・活用を目指すとし、専門性を大事にしつつ、文理横断的な大学入学者選抜や学びへの転換を進め、“文系・理系の枠を超えた人材教育”を加速する方針を示しています。

この社会的な転換期に、老若男女、改めて「学ぶこと」の原点に立ち戻ってみてはいかがでしょうか？  
“新しい世界” “新しい自分” に会うチャンスとなるかもしれません。



## 経済財政運営と改革の基本方針2022 新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～

令和4年6月7日  
閣議決定

### I. 我が国を取り巻く環境変化と日本経済

・我が国を取り巻く環境変化（新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵略、気候変動問題等）や国内における構造的課題（輸入資源価格の高騰、人口減少・少子高齢化、潜在成長率の停滞、災害の頻発化・激甚化等）など、**内外の難局が同時に複合的に押し寄せている。**  
・世界経済の不確実性が大きく増す中、我が国のマクロ経済運営については、**当面、2段階のアプローチで万全の対応を行う。**

【第1段階】総合緊急対策を講じることにより、国民生活や経済への更なる打撃を抑制し、**厳しい状況にある方々を全力で支援、コロナ禍からの回復を確かなものに。**  
予備費の活用等により**予期せぬ財政需要にも迅速に対応し、国民の安心を確保。**

【第2段階】骨太方針2022や新しい資本主義に向けたグランドデザイン・実行計画を**ジャンプスタートさせるための総合的な方策を早急に具体化し、実行へ。**

・大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を一体的に進める**経済財政運営の枠組みを堅持。**民需主導の自律的な成長とデフレからの脱却に向け、**躊躇なく機動的なマクロ経済運営を行う。**  
・持続的な経済成長に向けて、官民連携による計画的な重点投資を推進する。危機に対する必要な財政支出は躊躇なく行い、万全を期す。**経済あっての財政**であり、**経済をしっかりと立て直す。**そして、**財政健全化**に向けて取り組む。

### II. 新しい資本主義に向けた改革

- 社会課題の解決に向けた取組それぞれを付加価値創造の源泉として成長戦略に位置づけ
- 官と民が協力して計画的・重点的な投資と改革を行い、課題解決と経済成長を同時に実現

#### 新しい資本主義に向けた重点投資分野

- 1. 人への投資と分配**
  - ・スキルアップ、多様な働き方の推進
  - ・質の高い教育
  - ・賃上げ・最低賃金の引上げ（全国平均1000円以上）
  - ・「御年所等賃上げプラン」（NSAの抜本的拡充、DeCo制度の改革等）
- 2. 科学技術・イノベーションへの投資**
  - ・量子、AI、バイオテクノロジー・医療分野への官民が連携した投資の抜本拡充
- 3. スタートアップ（新規創業）への投資**
  - ・スタートアップ育成5年計画を本年末に策定（5年10倍増）
- 4. グラントランスフォーメーション（GX）の推進**
  - ・150兆円超の官民投資に向けた成長志向型カーボンライティング構想の具体化やGX経済移行債（仮称）の検討
- 5. デジタルトランスフォーメーション（DX）への投資**
  - ・テクノロジーマップの整備・実装、マイナンバーカードの普及

#### 社会課題の解決に向けた取組

- 民間による社会的価値の創造
  - ・PPP/PFIの活用等による官民連携の推進
  - ・社会的インパクト投資、共助社会づくり
  - ・イノベーションを促す競争環境の整備
- 包摂社会の実現
  - ・少子化対策・こども政策、女性活躍
  - ・共生社会づくり、孤独・孤立対策、就労移行支援
- 多極化・地域活性化の推進
  - ・デジタル田園都市国家構想
  - ・分散型国づくり、地域共生交通ネットワーク再構築
  - ・多極化された仮想空間へ
  - ・中堅・中小企業の活力向上、備前増大への対応
  - ・観光立国の復活、文化芸術・スポーツの振興
- 経済安全保障の徹底

### III. 内外の環境変化への対応

#### 国際環境の変化への対応

- 外交・安全保障の強化**
  - ・安全保障環境が一層厳しさを増す中、外交・安全保障双方の大幅な強化
  - ・防衛力を5年以内に抜本的に強化
- 経済安全保障の強化**
  - ・経済安全保障推進法の着実な施行
- エネルギー安全保障の強化**
  - ・省エネ促進、再エネ、原子力など脱炭素効果の高い電源を最大限活用
- 食料安全保障の強化と農林水産業の持続可能な成長の推進**
  - ・食料安定供給、みどり戦略、輸出促進（2030年5兆円目標）、スマート農林水産業
- 対外経済連携の促進**
  - ・国際連携の強化（DFFT、TPP11、RCEP、IPEF等）
  - ・対日直接投資の推進（2030年80兆円目標）
  - ・外国人材の受入れ・共生

防災・減災、国土強靱化の推進、東日本大震災等からの復興

国民生活の安全・安心

### IV. 中長期の経済財政運営、V. 当面の経済財政運営と令和5年度予算編成に向けた考え方

・**「財政健全化の1旗」を下ろさず、これまでの財政健全化目標に取り組み。**経済あっての財政であり、現行の目標年度により、**状況に応じたマクロ経済政策の選択肢が求められてはならない。**必要な政策対応と財政健全化目標に取り組むことは決して矛盾するものではない。経済をしっかりと立て直し、そして財政健全化に向けて取り組んでいく。ただし、感染症及び直近の物価高の影響を始め、**内外の経済情勢等を常に注視していく必要がある。**このため、**状況に応じた必要な検証を行っていく。**  
・**官民連携による計画的な重点投資の推進、単年度予算の警書更正、効果的・効率的な支出（ワイスペンディング）の推進とEBPMの徹底強化、税制改革。**  
・**全世代型社会保障をはじめとする持続可能な社会保障制度の構築、その他歳出分野（社会資本整備、地方行財政、教育・研究活動の推進）の取組を実施。**  
・令和5年度予算において、**本方針及び骨太方針2021に基づき、経済・財政一体改革を着実に推進。**ただし、**重要な政策の選択肢をせざるべきことがあってはならない。**

<参考>

1) : 経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太方針2022）

新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～

<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2022/decision0607.html>

2) : 文部科学省「諸外国の教育統計」令和3（2021）年版

[https://www.mext.go.jp/content/20210602170043-mxtchousa02-000015333\\_00.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20210602170043-mxtchousa02-000015333_00.pdf)

<参考>

【Factに迫る！】『人的資本経営』について（パート1、2、3）

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220701.html>

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220801.html>

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220901.html>

## 患者友の会への寄附について



「A市糖尿病患者友の会」の理事であるA市立病院の糖尿病専門医から寄附依頼がありました。

この会はA市全域の糖尿病患者で組織され、患者により自主的な運営が行われています。

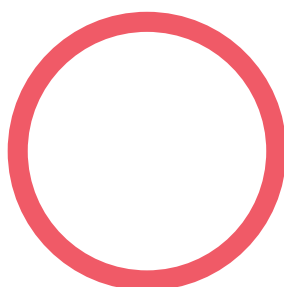
また、会則を備え、会費も徴収されています。

活動内容は、四半期毎に栄養士等の講師による「勉強会」と「歩く会」等の行事を実施しています。

この患者友の会に寄附できますか。



### 回答



寄附できます。

設問の「A市糖尿病患者友の会」は、A市全域の糖尿病患者で組織され、患者により自主的な運営が行われています。

また、会則を備え、会費も徴収されていますので、この「患者友の会」は、医療機関等、および医療担当者等とは別個の団体と認められます。

(COP便り：バックナンバー)

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/cop.html>





# 活動案内

2022年11月175号  
令和4年

(令和4年10月26日現在)

## 日誌

開催日	委員会	開催場所	WEB併用
3日	知的財産委員会	WEB開催のみ	○
5日	広報委員会コミュニケーション広報戦略部会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
6日	COP委員会	〃	○
6日	信頼性向上PJ常任委員会	WEB開催のみ	○
7日	信頼性向上PJ(MR教育研修検討チーム)	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
7日	流通適正化委員会	WEB開催のみ	○
11日	政策委員会政策実務委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
11日	製剤研究会	WEB開催のみ	○
12日	総務委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
13日	薬価委員会(幹事会)	〃	○
14日	流通適正化委員会	〃	○
14日	倫理委員会	WEB開催のみ	○
18日	薬制委員会(幹事会)	〃	○
20日	正副会長会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
20日	理事会	〃	○
21日	広報委員会ニュース・講演部会	〃	○
24日	広報委員会(幹事会)	〃	○
24日	経営層向けコンプライアンス研修会	WEB開催のみ	○
25日	バイオシミラー委員会	〃	○
26日	安全性委員会(幹事会)	〃	○
26日	安全性委員会全体会議	〃	○
27日	販売情報提供活動対応委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
28日	信頼性向上PJ常任委員会	WEB開催のみ	○

10月

## 今月の予定

開催日	委員会	開催場所	WEB併用
1日	品質委員会(幹事会)	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
1日	品質委員会全体会議	〃	○
2日	知的財産委員会	WEB開催のみ	○
7日	国際委員会	〃	○
8日	総務委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
10日	広報委員会コミュニケーション広報戦略部会	〃	○
15日	政策委員会政策実務委員会	〃	○
16日	薬制委員会(幹事会)	WEB開催のみ	○
16日	薬制委員会全体会議	〃	○
17日	正副会長会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
17日	理事会	〃	○
21日	くすり相談委員会	〃	○
21日	広報委員会ニュース・講演部会	〃	○
22日	薬価委員会(幹事会)	〃	○
22日	薬価委員会運営委員会	〃	○
22日	安全性委員会(幹事会)	WEB開催のみ	○
24日	薬事関連委員連絡会	〃	○
24日	COP委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
25日	信頼性向上PJ常任委員会	WEB開催のみ	○
28日	販売情報提供GL研修会	CIVI研修センター日本橋会議室	○
28日	広報委員会(幹事会)	日本ジェネリック製薬協会会議室	○
29日	倫理委員会	WEB開催のみ	○
30日	信頼性向上PJ(MR教育研修検討チーム)	日本ジェネリック製薬協会会議室	○

11月





## 温故知新

先日、子どもの運動会があった。入園して3回目の運動会となるが、初めての保護者参加だった。1・2年目はビデオや動画配信サイトを活用した共有であり、子どもの勇姿を直接見る事ができる貴重な機会に張り切って参加した。

思えば保育園の対応もコロナ禍を通してかなり変化しているように感じる。入園した2020年は初めての緊急事態宣言もあり、エッセンシャルワーカー以外の園児はなるべく登園自粛するよう案内があった。園によってさまざまだと思うが、送り迎えも当初は先生が玄関に常駐してくれて子どもと荷物の受け取りだけに制限されていた。今は何度かの感染拡大を経て、教室の前まで保護者が迎えに行く体制まで戻りつつある。

そんな登園スタイルひとつとっても激変させた新型コロナウイルス感染症であるが、一番大きく変化があったのはデジタル面ではないだろうか。冒頭に述べた運動会のビデオ配信対応はもちろんだが、オンライン診療・オンライン服薬指導は大きく進んだ数年だと思う。JGAニュース10月号(先月号)の知っ得！豆知識にもある通り、マイナンバーカードの保険証利用についても今後普及が進むと思われる。いずれ保険証とマイナンバーがリンケージされてPHR (Personal Health Record) が利活用されるための入口となるだろう。2019年、私が初めてPHRの存在を知ったときには、もっとずっと先の未来、2030年とかをイメージしていたが、医療、社会保障制度の改革はどんどん進んでいる。それでも日本はデータ利活用が遅れていると言われているくらいである。今後医療DXが進みオーダーメイド医療が当たり前になるような、当初私がイメージしていた未来はそう遠くないのかもしれない。

とはいえ、温故知新の気持ちも忘れてはならないと思う。今、製薬業界の一員として、業界の未来を考える立場になり、様々な議論を目にするようになった。海外や新しいものと今の制度を比較して批判することは一見簡単であるが、日本の社会保障・医療制度はこれまで様々な経緯・歴史を経て今の形になっている。“古くからの”日本ならではの良さ、特長も生かしつつ、“今の”日本にはどんな制度が必要なのかという議論ができるよう、自身も鋭意勉強し、検討していきたい。

実は運動会には、張り切った勢いでビデオカメラを購入して臨んだ。今時、スマホが主流で浮いてしまかなかと少し不安であったが、杞憂に終わった。まだまだビデオカメラを構えている保護者の方が多かった。保育園が撮ってくれるビデオや動画配信サイトも全体が見ることができてよかったが、自分で子どもをズームして撮るのも臨場感もありいい思い出になった。これからも新しいものと古いものをうまくバランスとりながら何事も考える姿勢を大切にしていきたい。

<参考>

健康長寿ネットホームページ PHR(パーソナルヘルスレコード)について  
<https://www.tyoju.or.jp/net/kenkou-tyoju/koreisha-ICT/PHR.html>

(A.T)